

「2023 年度東京大学大学院医学系研究科・医学部 D&I 推進検討 WG のアンケート (2023.4.25-2023.5.15)」集計結果の要旨

生理用品設置のニーズ (数値データ) :

- ・職種別では、学部学生 (85.4%) のニーズが特に高く、以後、大学院生 (74.5%)、教員 (61%)、職員 (55.4%) と続く
- ・使用トイレ別では、女性トイレ (68%) だけでなく、男性トイレ (64%) や多機能トイレ (55%) にも需要あり
- ・建物別では、生命科学実験棟 (55%) 以外の全ての建物で、62.5%以上 (最も高いのは医学部 1 号館の 85%) のニーズあり
- ・(医学系研究科・医学部の管轄外である) 東大病院、臨床研究棟など、病院エリアのトイレにおけるニーズもあることが分かった。

他にも、多くの自由回答が得られ、生理用品設置の賛否以外にも、具体的な要望が挙げられた。

<生理用品設置の自由回答について>

- ・賛否では、賛成の意見が多い
- ・導入の場合の懸念事項については、主に下記の 3 つ
 - ▶管理・運用 (部局独自で行うことの大変さ)
 - ▶費用 (有料でも良いか?)・大量に持ち去される危険
 - ▶衛生面の問題の解決

<その他の要望事項>

- ・ジェンダーバランス
 - ▶人事
 - ▶意識改革の工夫 (セミナー・教育の必要性)
 - 話し方や態度について
 - マネジメントやリーダーシップ
 - 女性の生理的変動について (生理痛のこと、更年期のこと etc)
- ・外国人、留学生、車椅子利用者への配慮
 - 建物内の案内板
 - 建物のバリアフリーの設計
- ・環境面
 - 建物のセキュリティ
 - 女子ロッカーのカーテンの修繕
 - 医学部のトイレに関する要望
 - トイレットペーパーが硬い
 - ポスターに不快感 (3 号館)
 - 液体洗剤の不足 (3 号館)
 - お湯が出るようにして欲しい (2 号館)
 - ゴミの始末 (3 号館)
 - トイレの流し台のところへのペーパータオルの設置
- ・男性の休養室の設置希望 (女性の休養室は既に設置済み)